

## ◎有栖山清光院清水寺：和宗（本尊：十一面千手観音）

寛永 17 年（1640 年）に延海阿闍梨（えんかいあじやり）により中興された。延海は観世音菩薩の御告げを受けて、京都の清水寺を模した舞台造の本堂を建立し、本尊として京都の清水寺から迎えた千手観音像（聖徳太子作の伝承をもつ）を安置した。当寺の境内は北・西・南の三方が崖になっており、往時は大坂の街や大阪湾を見渡す眺望の地であった。境内崖下にかかる京都清水寺音羽の滝をまねて、寛政 8 年（1796 年）に作られた。



## ◎四天王寺別院愛染堂（荒陵山 勝鬘院）

本尊：愛染明王 聖徳太子霊跡 29 番・西国愛染十七霊場 1 番  
愛染堂は四天王寺の別院で、飛鳥時代の推古天皇元年 593 年、聖徳太子によって建立されたと伝えられる。当初は庶民救済の地として薬草を植えて病人に与える「施薬院」の役割を果たしていたとみられる。聖徳太子がここで勝鬘経を講義されたことから「勝鬘院」となった。金堂に縁結び、夫婦和合の愛染明王が奉安されたため、現在は「愛染堂」または「愛染さん」と称されている。境内にそびえ立つ多宝塔は天正 4 年（1576）織田信長に焼き払われたものの、豊臣秀吉によって慶長 2 年（1597）再建され、市内唯一の桃山時代の建物として国の重要文化財に指定されている。金堂は徳川秀忠の再建で府の指定文化財。毎年 6 月 30 日～7 月 2 日には大阪三大夏祭りの 1 つである「愛染まつり」が行なわれる。



### ◎愛染かつら

川口松太郎の小説でカツラの木と木が隣接する愛染堂に着想を得て、恋愛ドラマを書き上げた。

## ◎家隆塚

従二位 藤原家隆卿の墓 新古今和歌集の選者の一人。藤原定家と並び称せられる鎌倉時代の歌人、嘉禎 2 年（1236）此の地に小庵（夕陽庵）を設け日想観を修め「契りあれば難波の里に宿り来て、波の入り日を拝みつるかな」の和歌を残して正座合掌してこの世を去ったと云われている。夕陽丘の地名の由来となっている。五輪の墓碑が残されている。（1158～1237）79 才歿

日想観とは西に沈みゆく太陽に向かって念仏を称え、極楽往生を願う、観無量寿経に説かれている念仏修業の一つである。



## ◎真光院

別添資料参照

## ◎四天王寺

別添資料参照

## 茶臼山と大塚城、大坂冬の陣、夏の陣

### ○大塚城・別名茶臼山砦、茶臼山陣城

天文15年（1546）戦国時代に細川晴元の家臣山中又三郎が最初に城を築いたとされている。舎利寺の戦いで細川氏綱・遊佐長教等に攻撃を受け落城し廃城。再び脚光を浴びるのは大坂の陣に徳川家康・真田幸村が陣を置いた事による。

### ○大塚城の城郭

大塚城は『諸国古城絵図』にも記載がある。これによると、山頂部は8間四方の曲輪があり、西側にも更に広い曲輪がある。またこの曲輪西側や堀を隔てた位置に丸馬出状の曲輪が記されている。この丸馬出状の曲輪は、現状でもその形態を平坦地に見られる。但し、この部分は台地端部にあたるため、少なくとも西端部分は自然地形を踏襲すべきではないかと『図説近畿中世城郭事典』では解説している。

### ○茶臼山の本陣

大坂冬の陣・慶長19年（1614）茶臼山一帯が徳川家康の本陣となった。

大阪夏の陣・慶長20年（1615）真田幸村（信繁）の本陣となり天王寺口の戦いの場所であった。



広島市立中央図書館所蔵

浅野文庫蔵「諸国古城之図」より「摂津 茶臼山御陣城」



出典：大阪夏の陣布陣図

### てんのうじ知りたい倶楽部メンバー募集！

てんのうじ知りたい倶楽部は会員相互に協力し、住民意識を向上することで、住みよい魅力あるまちづくりを推進することを目的とし、天王寺区未来わがまち会議の活動を継承しつつ、天王寺区の宝（文化・歴史・企業など）を区民に知ってもらい、天王寺区に住む喜びを感じていただくとするグループです。

詳しくは [tennoji.shiritai.club@gmail.com](mailto:tennoji.shiritai.club@gmail.com) にご連絡ください。